

事務事業名		地育力向上連携システム推進事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		生涯学習・スポーツ課		H28係等名		地育力向上係		H27係等名		地育力向上係	
基本計画上の位置づけ		政策 2		地育力によるこころ豊かな人づくり		施策 29		ふるさと意識の醸成		開始 17 終了	
目的	対象(誰・何を)	市民		対象指標	指標名及び単位			27年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	地域に愛着を持ち、住み続けたいと思う人になる			飯田市の人口(人)			101743			
	向上させたい上位施策の成果指標	ふるさとを誇りに思っている市民の割合:%									
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	この地域に住み続けたいと考えている高校生の割合(%)			50	48	50	-			
	成果指標	教育委員会職員を対象にした研修会参加者数			120	87	120	-			
定性目標											
事業概要	<p>・地育力とは、「飯田の資源を活かして、飯田の価値と独自性に自信と誇りを持つ人を育む力」と定義している。</p> <p>・飯田の良さを知り、自らの人生を主体的に切り拓く力や地域に貢献しようとする心を育むため、地育力向上連携システム推進計画の重点ポイントである「体験、ふるさと学習、キャリア教育、研究機関ネットワーク」を地育力(地域の資源+地域の人材)を活用して推進する。</p> <p>・重点的な取組みについて、学校現場と教育委員会事務局が共通認識を持って効果的に推進するために、コーディネーターを設置する。</p> <p>・地育力そのものと、地育力を活用した取組みを市民等に知ってもらうため、情報紙「地育力通信」とWebサイト「地育力どっとネット」により情報発信する。</p>										
事業内容					名称			活動指標			
27年度事業内容	1 キャリア教育・体験コーディネーターの設置 小中学校と教育委員会事務局、事業所をつなぐコーディネーター業務				1 設置人数			1 1人			
	2 地育力向上連携システム推進事業の情報発信 (1)地育力通信の発行 (2)ウェブサイトによる情報発信				活動日数			241日			
27年度事業内容	3 地育力向上連携システムの推進 (1)後期アクションプログラムの進行管理、検証・見直し(担当係長による打合せ)				2			2			
	(2)教育委員会職員を対象にした研修会の開催 (3)高校生意識調査の実施(3年に1度実施 飯伊8校)				(1)発行回数			(1) 2回			
				(2)新規情報発信数			(2) 50回				
				3			3				
				(1)開催数			(1) 2回				
				(2)開催数・出席者数			(2) 1回・87人				
				(3)実施回数			(3) 1回				
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		2,504	2,636	2,480	2,514	(そ)ふるさと寄付金					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他				2,205							
一般財源		2,504	2,636	275	2,514						
人件費計(千円)②		2,720		2,720							
正規職員所要時間		400		400							
臨時職員所要時間		1,200		1,200							
総事業費①+②		5,224	2,636	5,200	2,514						
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成26年度の振り返りを行い、平成27年度予算を反映させた「後期アクションプログラム2015改定版」を作成した。地育力向上連携システム推進計画への理解を深め、関係する課等が連携して取り組んでいくための研修会を開催した。										
改革改善の考え方	①問題点	教育委員会職員がコーディネーターの役割を果たしていくために研修会を継続実施する必要がある。また、各課等の事業担当係長による検討会議を開催し後期アクションプログラムの確実な推進を図るとともに、社会教育機関が連携した取組としていく。									
	②改革提案	各課等の事業担当係長による検討会議を開催し、教育委員会が一体となって後期アクションプログラムの確実な推進を図るとともに、情報・意見交換を行い連携して取り組みを推進する。									